

氷室の郷土福住



氷室神社

題字：植田 喜代美
挿絵：岡田 忠弘

まちづくりマップ

催事

- 6月16日 山田町 虫送り
稲につく害虫を松明で集め、地域の外へ送り出すとともに、殺生した虫の供養を行う農耕儀礼の伝統行事。市無形民俗文化財。
- 7月1日 氷室神社 献氷祭
旧暦の6月1日に朝廷に氷を献上した故事にちなみ行われる祭り。神饌には、氷柱なども供えられる。
- 7月海の日 氷まつり(復元氷室、福住小学校)
- 9月末頃 山田観月会(山田公民館)
- 10月(第2日曜) 氷室神社秋祭
氏子が秋の収穫を祝う祭り。神社から御旅所への神輿などの渡御が行われる。
- 12月23日 さる祭り(別所・下之坊)
収穫に感謝し、五穀豊穡を願って男の子どもだけが行う行事。しめ縄や御幣、でんぼうなどをもち、囃し立てながら練り歩き、「森さん」と呼ばれる山頂の祭祀場に納められる。市無形民俗文化財。



協働によるマップづくり

■奈良県では、地域資源を再発見するため、マップづくりを行っています。平成24年度は次の2地区で作成しました。

福住
(天理市)

忍阪
(桜井市)

■このマップは「福住郷土活性化プロジェクト協議会」と「ならまちづくりコンシェルジュ(事務局:奈良県地域デザイン推進課)」が協働で作成しました。
■平成25年(2013年)3月発行(平成29年3月改訂)
■問い合わせ先:
福住郷土活性化プロジェクト協議会(福住公民館) TEL 0743-69-2001
奈良県地域デザイン推進課 TEL 0742-27-7515

福住ゆかりの偉人

大仏修復の立て役者 山田道安

山田を拠点に広く勢力を持っていた戦国時代の武将。山田民部大輔順貞といい、剃髪して道安と名乗り、山田岩掛城を築いてこの地を治めた人物です。

彫刻や絵画を好んだ武人画家として知られており、笠置の僧、楊月に画を学びます。

特に代表作である鎌倉市の円覚寺所蔵の鍾馗図(重要文化財)は「道安の鍾馗図」と言われ、高く評価されています。

永禄十年(1567年)東大寺の大仏殿が松永久秀の焼き討ちにあい、大仏の首が落ちたとき、道安が一部修復したといわれています。

晩年は天正元年(1573年)に没するまで、蔵輪寺で暮らしました。



「紙本淡彩 鍾馗図」山田道安筆(円覚寺所蔵)

女性パイロットのさきがけ 前田あさの

昭和51年に放映されたNHKの連続テレビ小説「雲のじゅうたん」のモデルのひとり。明治38年山辺郡福住村生まれ。17歳で女性パイロットをめざして上京し、東京蒲田の日本自動車学校航空科に入学。外国語の辞書を片手に勉強し、学科・地上訓練を経て通信局のテストに合格、日本で4番目の女流三等飛行士になりました。

奈良に戻って民間の飛行機会社に勤務し、昭和3年当時の女性飛行士としては最高の二等飛行士の免許を取得。6年間関西の空を飛びましたが、昭和5年結婚して「雲のじゅうたん」からは姿を消しました。昭和54年74歳で没。



複葉機を背にしたあさのさん(かつての奈良練兵場で)

福住の歴史

～のどかな山里の風景が広がる大和高原～

福住は、天理市の東部に位置する大和高原地域です。縄文時代から人の営みがあったことが遺跡から出土した土器で証明され、5世紀には大和高原一帯は鬮鷄国と呼ばれる古代小国家が形成されていました。

中世には興福寺の傘下に福住氏・山田氏が興り、他の大和武士同様に群雄割拠の中にいたようです。その中で福住氏は、筒井氏との強い姻戚関係にあり大きな力を持つようになります。

江戸時代に天下が統一されると、福住地域も幕藩体制に組み入れられ、明治になり大字福住、山田、長滝が一つになって山辺郡福住村が設立、昭和29年天理市に合併され、福住町、山田町、長滝町となりました。

昭和39年に名阪国道が開通したことで、人やものの動きが大きく変わりました。

名阪国道開通前の福住IC付近(昭和38年)



現在の同じ場所(平成24年)



ひむろ 氷室ってなに?

冷蔵庫のない昔、古墳時代からあった天然の氷の貯蔵庫を「氷室」といいます。冬の間池に張った氷を切り出して、山に掘った大きな穴に溶けないように茅などをかぶせて貯蔵しておき、夏になると掘り出して皇室へ献上し、氷を使用していました。その氷室跡がこの福住町にも残っています。

奈良時代に編纂された『日本書紀』に天然の氷を貯蔵した「氷室」が鬮鷄にあつたと記されています。

昭和63年の平城京跡長屋王屋敷発掘調査で、多数の木簡が出土し、その中から和銅5年(712年)の「都祁氷室」と記された木簡が発見され、福住の氷室から奈良の都(平城京)へ氷が運ばれていたことが明らかになりました。



復元された氷室(福住町)

氷室の郷土 福住



① 七曲り峠
 福住町から奈良市中畑町へ通じるその名のとおり曲がりくねった七曲り道にある峠。魔道になっていたのを平成18年に地元住民により復興。



② 受け取り地蔵
 七曲り峠の頂上にある地蔵菩薩石仏。建長5年(1253年)、鎌倉時代の彫刻。ふっくら美しい地蔵。石仏が野に祀られる初期のもので、今も別所の共同墓地の「受け取り地蔵」と呼ばれている。



③ 下之坊・婆羅門杉
 奈良時代、聖武天皇の勅願により創建されたと伝わる永照寺下之坊。山門代わりにそびえたつ二本の大杉は婆羅門杉と呼ばれ、推定樹齢800年。神秘的なパワースポット。



④ 泥かけ地蔵
 県道福住矢田原線の道端にある明徳元年(1390年)南北朝時代の双石仏。阿弥陀如来と地蔵菩薩が彫られており、双石仏としては最古。身体に具合の悪いところができると、石仏の同じ場所に泥を塗り、病の治癒を祈る風習から「泥かけ地蔵」と呼ばれる。



⑤ 八つ岩
 素戔嗚尊によって退治された八岐大蛇が八匹の蛇になって天に昇り、布留川上流の日の谷に降臨した夢を石上神宮の神官が見たので、その場所へ行くと、大きな岩に神剣が刺さり、岩は八つに割れていたと伝わる。神官が神剣を持ち帰り、社を建ててお祀りしたものが今の石上神宮の摂社出雲建雄神社(拝殿は国宝)。

ビュースポット



B: 八つ岩からの眺望 夏



A: 長滝町の桜 春



C: 桜峠からの夕日 秋



⑦ 塔の森
 奈良時代の凝灰岩製の六重石塔(県指定文化財)で、もとは十三重塔。氷室神社祭神の鬮鶏稲置大山主命の墓所とされている。



⑧ 氷室神社
 全国的にも珍しい「水の神」を祀った神社。創建は古く、社伝によると允恭天皇の時代(430年頃)と伝わる。祭神は、鬮鶏稲置大山主命・大鷦鷯命(仁徳天皇)・額田大中彦命の三人。毎年7月1日に催される「献水祭」は、旧暦の6月1日に氷が献上されたことにちなんだもの。



⑫ 蔵輪寺
 真言宗高野山派の末寺で印度婆羅門僧正が建立。本尊は、地蔵菩薩半跏像(市指定文化財・通常非公開)。中世、この地を治めていた山田道安の菩提寺で、本堂の裏に道安父子の石塔が残っている。



⑨ 十王仏
 十王とは、道教や仏教で地獄において亡者の審判を行う十人の王で、閻魔大王もその一人。隣の小さなお堂には、安政6年(1859年)、江戸時代の如意輪観音像と弘法大師像が祀られている。



⑩ 尻冷やしさん
 国道25号線沿い応長元年(1311)鎌倉時代の阿弥陀石仏。当時、川のすぐそばにあったので、洪水の時、石仏のお尻が水に浸かっていたことから「尻冷やしさん」と呼ばれている。



⑪ 西念寺
 江戸時代創建の融通念仏西念寺。茅葺きの本堂の木造阿弥陀如来像は、室町時代後半の作。観音堂には、木造十一面観音立像(県指定文化財)が安置されている。裏山に中世この地方を治めていた福住氏の墓がある。



⑥ 九頭神社
 長滝町の氏神で、祭神は建御名方神。本来は竜神信仰で、水の神。本殿の後ろに、日本に古くからある自然崇拝の原型の巨岩(磐座:いわくら)がある。



D: 山田町の雪景色 冬